授業計画 2023年度 モータースポーツ科 カート授業 時期 MS1年通年 実習 教科名 単元 2023.4.3 ・保護メガネ 科目 自動車整備作業 発行日 教科書等 ・作業グローブ ・サーキットテスタ 教科担 内田 持参品 \bullet 総時限 100時限

1. 指導教員の実務経験

自動車整備士として、カート製作とカート走行の経験のある教員より、作業方法、注意事項、安全な作業について指導する。

2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)

- 1. カート整備を通じガソリンエンジン、車両構造への理解度を深める。
- 2. シンプルな構造の車両構造、調整による挙動変化をサーキット走行で体感し実車整備に役立てる。
- 3. カートでの走行を通じて、サーキットマナーやレースルールなどモータースポーツに必要な知識を学ぶ。
- 4. 各レースに参戦し、学生自ら運営を行うことで自主性、主体性を醸成する。

3. 授業の到達目標(何を理解し何が出来るようになるのか)

- 1. カートの構造、キャブレータの構造を理解しメンテナンスが自ら行える。
- 2. 各コースやレース内容に合わせたセッティングを考え、それを実施することができる。
- 3. サーキット走行において、各フラッグ等の意味を理解し安全に走行することが出来る。
- 4. カートレースにおいて学生が協力し合い、チームとして運営を行える。

1	学习证准		の主か試験項目)
4.	- 4	(4 大 元 元) 24 /以訊(輔) 16 (21)

レポート: 課題を実習期末試験に示す。

※●⇒実務経験がある教員

※■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- 1. カートの構造、作動を理解している。
- 2. カートの挙動、作動を理解しそれに基づき調整ができる。
- 3. サーキットルールを理解し安全に走行することができる。
- 4. レースにて各学生が自主、主体性をもってチーム運営ができる。

モータースポーツ科

2023年度 授業計画

		ヘハーライ	T	2023	一种皮 投表可凹		
時期	MS1年通年	単元	実習	教科名		カート授業	
5.	授業概要(時限	えごとの主	な授業内容)			6. 教科書、資料、	備品類
時限			主な授業に	内容		資料、備品類	数量
	年間カート授業					カート製作工具	一式
1	·目的、目標、安全	全、年間の)流れ、スポーツカ	ートについて	₹説明	カート台	2台
	・大井松田カートラ	ランドにてS	Lライセンス講義の	(センス取得	カート消耗品	必要量	
	スポーツカート製作講義の受講					カートタイヤ	1set
						ラッシングベルト	2
3	・受講内容に基づきスポーツカート2台の製作					エンジンオイル	必要量
						パーツクリーナー	必要量
18	・製作した車両をス	大井松田	カートランドにてテン	スト走行		ガソリン	必要量
21	・走行後のメンテナ	ンス				消火器	1本
23	・初参戦前のテスト	走行と走	行後メンテナンス				
25	・1 時間耐久への	準備と参	践				
32	・走行後メンテナン	ス					
35	・3 時間耐久参戦	は前のテス	ト走行(APGにて	T耐久走行	のテスト)		
42	・走行後メンテナン	ス					
44	・3 時間耐久の準	備と参戦					
51	・走行後メンテナン	ス					
53	・1 時間耐久への	準備と参	践				
60	・走行後メンテナンス						
67	・3時間耐久への		践				
69	・走行後メンテナン	ス					
72	・1 時間耐久への		践				
79	・走行後メンテナン	ス					
82	・3時間耐久への						
89	・走行後メンテナン	ス					
		\# / * / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	WIS				
91	・3時間耐久への	準備と参					
		_, ^ :	 .	/\ /=			
98	・走行後メンテナン	スを含めて	、次年度へ向け	分解			
100	・カート授業振り返	りとまとめ					

2023年度 授業計画 モータースポーツ科 時期 MS1年通年 単元 実習 教科名 カート授業 6. 教科書、資料、備品類 5. 授業概要(時限ごとの主な授業内容) 時限 主な授業内容 資料、備品類 数量 カート製作 カート製作工具 一式 1 ・目的、目標、安全、作業、スポーツカートについて説明 カート台 2台 ・大井松田カートランドにてスポーツカート製作講義を受講 カート消耗品 必要量 カートタイヤ 1set ラッシングベルト 2 4 ・受講内容に基づきスポーツカートを2台製作 エンジンオイル 必要量 パーツクリーナー ・エンジン試運転、キャブ調整、各部異常の再確認 必要量 15 ガソリン 必要量

モータースポーツ科 2023年度 授業計画	
時期 MS 1 年通年 単元 実習 教科名 カート授業	
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容) 6. 教科書、資料、備に	品類
時限 主な授業内容 資料、備品類	数量
カートテスト走行 (カート製作時、耐久レース参戦へのセッティング確認走行) 現地用出張工具	一式
1・事前に学習済みの各フラッグ等のルール、コースマナーの再確認 スペアパーツ	一式
レーシングギア	一式
2 ・現地にて設営とカートの走行前確認 ガソリン	必要量
消火器	1台
3 ・テスト走行と片付け テーブル	2脚
丸椅子	必要数
5 ・走行後メンテナンス	

モータースポーツ科

2023年度 授業計画

時期 MS1年通年 単元 カート授業 実習 教科名 5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容) 6. 教科書、資料、備品類 主な授業内容 時限 資料、備品類 数量 カートレース参戦 現地用出張工具 一式 スペアパーツ ・レースレギュレーション、コースレイアウトに合わせた車両のセッティング : 1 レーシングギア ・前回走行後から補修、交換が必要な部分の確認 左-**左**一 参戦用ケミカル ・レギュレーション、ルールの確認と参戦の準備 積み込み ガソリン 必要量 計量台 1 消火器 4 ・サーキット到着後準備と参戦前MTG 1 テーブル 2 丸椅子 5 ・参戦とPIT作業、L A Pの計測 必要数 7 ・片付け、撤収 ・走行後メンテナンス サーキット設備により以下必要品 エア-コンプレッサ 1 ・走行後メンテナンス 発電機 1 走行後は洗浄、清掃を徹底的に行い各部に異常はないかを確認 テント 1 各部の清掃、洗浄、ゆるみ、破損の確認を行い異常個所は教員に報告 テントウェイト20kg 4 走行後メンテナンス終了までがカート走行授業であることを意識付けする

モータースポーツ科			2023	3年度	授業	計画		
時期	寺期 通年 単元		実習	教科名	カート授業			
7.	安全(KYのため必	がず授業内で説明)						
番号	作業	名	遵守事項			災害事例	チェック	
1	カート走行、PIT作業		走行前の健康チェン ヘルメット、頚椎保 リブガードの確実な 正しい走行姿勢と 燃料の確実な給油 PIT作業時のグロ- 乗降時の高温部位	き行マナーの遵守 はなくノートラブルの完成 ック 護具の確実な装着 装着 PITとのやり取り 由と可燃物の排除 -ブの確実な装着	ŧ	ルール違反による他車との接触 マナー違反による他車との接触 無茶をする走行での事故 体調不良のままの走行による事故 不完全な装着による負傷 事故等で接触時に肋骨の負傷 不安定な姿勢による運転での接触 引火による火災、火傷 高温部位接触による火傷 不用意に近づき火傷 高温部位への接触による火傷		
2	カート制作、メンテナン		回転物締め付け時エンジン試運転接にチェーンの確実な誤エンジン連転後の高アクスルシップでしい姿勢でのしい姿勢が付けられて、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルシップでは、アクスルン・ストッグでは、アクスルン・ストッグでは、アクストッグでは、アクストッグでは、アクストッグでは、アクストッグでは、アクストッグでは、アクストッ	のエッジに対する注意 寺の確実な固定 は回転体には近づか 調整とエンジンの固定 高温部位の認識 入時のしっかりとした支 業 击掛け	ない	バランスを崩し落下 スプロケットでの裂傷 ふいに回転し他部品へ当たり裂傷 回転体への巻き込まれによる裂傷 エンジン回転中にチェーンが外れ裂傷 接触による火傷 治具が外れハンマで手を殴打 カート台からの落下、姿勢が崩れ転倒 他作業者の回転体への巻き込まれによる裂傷 ショートによる火傷		
8. 授業レイアウト(写真の貼り付けも可)						座学教室		
実習場						<u>淫</u> 士狄至		